

XVII 参考資料

1 抵抗性台木を利用した病虫害防除

青枯病、萎凋病、半身萎凋病、 その他土壌病害	なす、トマト、きゅうり
---------------------------	-------------

土壌病害の防除はこれといった決め手がなく、連作地では大きな問題となっている。土壌病害の激発は産地を崩壊させる危険性も高い。このため、抵抗性台木を利用した病害の軽減は、今後とも重要な防除対策の一つである。

しかし、抵抗性台木だけでは十分な効果を得ることができないので、土壌消毒等、他の防除法も併せて行う。

(注：各台木の評価は育成者ごとの評価であり、それぞれの育成者内の相対評価であり絶対評価ではない)

① なすにおける抵抗性台木の利用

なすでは、台木の種類によって低温伸長性や収量が異なるので、作型やほ場での発生病害に応じて品種を選ぶ。なお、青枯病は菌群により、台木の抵抗性が異なるので注意する。

なすの主な台木品種の病害抵抗性

台木の種類	品種・系統名	青枯病	半身萎凋病	半枯病
野生種台	ヒラナス（アカナス）	×	×	◎
	トルバム・ビガー	○	○	◎
	カレヘン	○	○	—
	トレロ	○	○	◎
	トナシム	○	○	◎
種間雑種台	耐病VF	×	○	◎
	羽曳野育成1号	○	○	◎
F 1	台太郎	○	×	◎

注) ◎：強度の抵抗性、○：かなりの抵抗性、×：抵抗性なし

なす青枯病菌群に対する台木品種の抵抗性

品種		I 群菌	II 群菌	III 群菌	IV 群菌	V 群菌
	千両2号	×	×	×	×	×
台木	ヒラナス（アカナス）	○	○	×	×	×
	トルバム・ビガー	○	○	●	×	○
	カレヘン	○	○	●	×	○
	トレロ	○	○	●	×	○
	トナシム	○	○	●	×	○
	耐病VF	×	×	×	×	×
	羽曳野育成1号	○	○	●	×	○
	台太郎	○	○	○	○	○

注) ●：高温時に抵抗性の崩壊が認められることがある

②トマトにおける抵抗性台木の利用

トマトの台木選定に当たっては、台木と穂木とのトマトモザイクウイルス（TomMV）抵抗性因子を一致させる。組合せを間違えると、地上部がしおれ枯死したりする。

トマトの主な台木の病害抵抗性

品 種 名	育成者	抵 抗 性							ToMV抵抗性 因子型
		萎凋病			半身 萎凋病	褐色 根腐病	青枯病	ネコブ センチュウ	
		レース1	レース2	レース3					
グリーンフォース	タキイ	○	○	○	○	7	8	○	Tm2 ^a
グリーンセーブ		○	○	○	○	7	9	○	Tm2 ^a
グリーンガード		○	○	○	○	7	9	○	Tm2 ^a
ボランチ		○	○	－	○	3	9	○	Tm2 ^a
Bバリア		○	○	－	○	1	9	○	Tm2 ^a
ガードナー		○	○	－	○	5	7	○	Tm2 ^a
ベスパ		○	○	－	○	1	7	○	Tm2 ^a
アンカーT		○	○	－	○	1	6	○	Tm2 ^a
影武者		○	○	－	○	1	5	○	Tm2 ^a
ドクターK		○	○	－	○	8	1	○	Tm2 ^a
キングバリア		○	○	○	○	7	10	○	Tm2 ^a

注) 1～10は相対評価、育成者毎に基準は異なる

品種名	育成者	抵 抗 性							ToMV抵抗性 因子型
		萎凋病			半身 萎凋病	褐色 根腐病	青枯病	ネコブ センチュウ	
		レース1	レース2	レース3					
アシスト	サカタ	○	○	○	○	6	8	○	Tm2 ^a
バックアタック		○	○	○	○	6	8	○	Tm2 ^a
フレンドシップ		○	○	—	○	9	8	○	Tm2 ^a
レシーブ		○	○	—	○	—	9	○	Tm2 ^a
ブロック		○	○	○	○	6	6	○	Tm2 ^a
マグネット		○	○	—	○	5	6	○	Tm2 ^a

注) 1～10は相対評価、育成者毎に基準は異なる

品種名	育成者	抵抗性							ToMV抵抗性 因子型
		萎凋病			半身 萎凋病	褐色 根腐病	青枯病	ネコブ センチュウ	
		レース1	レース2	レース3					
カップルT	むさし	◎	◎	—	◎	—	◎	◎	Tm2 ^a
グレート		◎	◎	—	◎	○	○	◎	Tm2 ^a
タイアップ		◎	◎	—	◎	—	◎	◎	Tm2 ^a
バスター		◎	◎	—	◎	○	—	◎	Tm2 ^a
新カップルT		◎	◎	—	◎	—	◎	◎	Tm2 ^a

注) ◎＝抵抗性、○＝耐病性、育成者毎に基準は異なる

品種名	育成者	抵抗性							ToMV抵抗性 因子型
		萎凋病			半身 萎凋病	褐色 根腐病	青枯病	ネコブ センチュウ	
		レス1	レス2	レス3					
根くらべ	カネコ	○	○	－	○	－	○	○	Tm2 ^a
スーパー良縁		○	○	－	○	－	○	○	Tm2 ^a
強健		○	○	○	○	－	○	○	Tm2 ^a
助人		○	○	－	○	○	○	○	Tm2 ^a

注) ○＝抵抗性又は耐病性、育成者毎に基準は異なる

③うり科野菜における抵抗性台木の利用

うり科野菜では、つる割病回避のため、かぼちゃやゆうがおに接木することが多いが、台木由来する病害についても留意する必要がある。

○きゅうり

かぼちゃ台のきゅうりでは、キュウリモザイクウイルス（CMV）とズッキーニ黄斑モザイクウイルス（ZYMV）、または、CMV、ZYMV、カボチャモザイクウイルス（WMV-2）の混合感染で高率に重度の萎凋をする。

また、ZYMVの単独感染またはCMVとWMV-2の混合感染では低率で軽度の萎凋をする。ブルームレス台木では、特にこれらの萎凋症状が出やすい。さらに、ブルームレス台木では、生育初期から、うどんこ病や褐斑病が発生しやすいので注意する。

かぼちゃ台に接木すると、青枯病の発生が認められている（自根での発生はない）。

○うり科野菜の接ぎ木後に発生する可能性のある病害や障害

作物(穂木)	台 木	病 原 (菌)	病 徴
すいか	ゆうがお 黒種かぼちゃ	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lagenariae</i> <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lagenariae</i>	急性萎凋 急性萎凋
きゅうり	黒種かぼちゃ ブルームレス台木 ブルームレス台木 かぼちゃ	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lagenariae</i> <i>Sphaerotheca fuliginea</i> <i>Corynespora cassiicola</i> CMV+ZYMV混合感染	急性萎凋 うどんこ病 褐斑病 急性萎凋
メロン	かぼちゃ(新土佐)	<i>Didymella bryoniae</i>	つる枯病